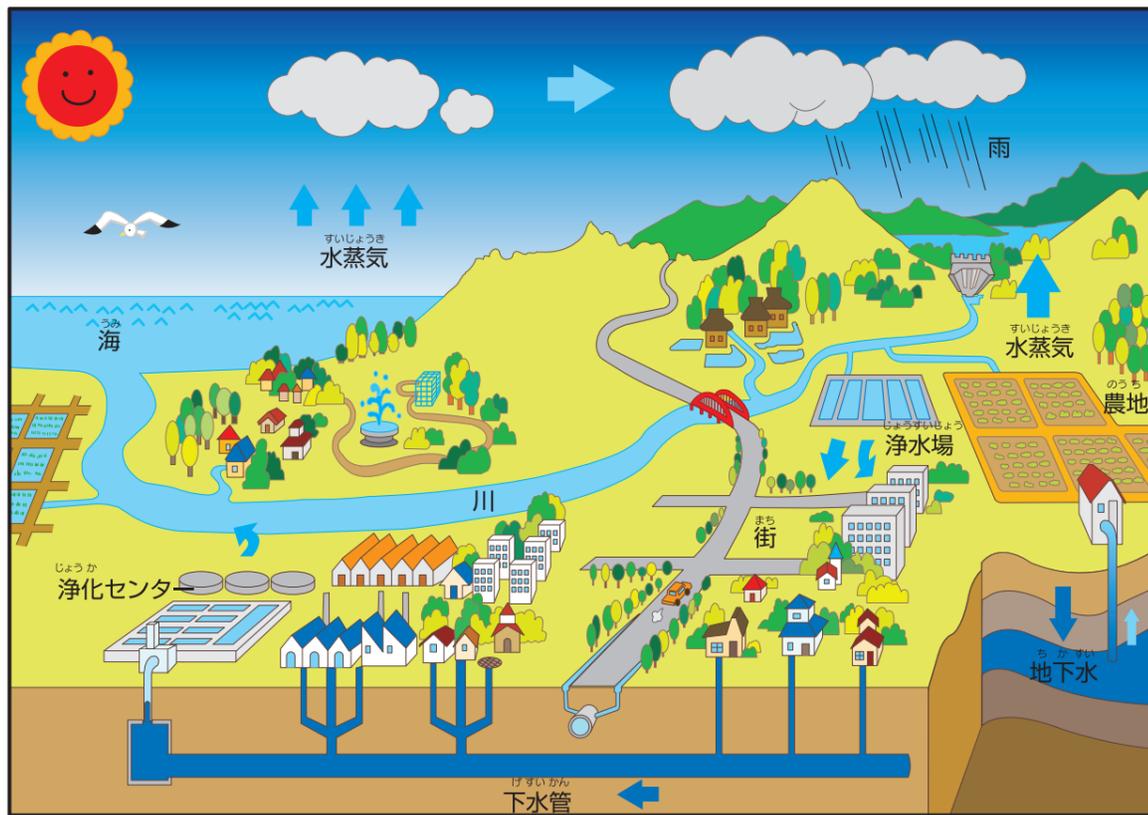


水のじゅんかん



わたしたちが生活の中で使った水は、川や海に流れこみます。水は蒸発して雲をつくり、雨や雪をふらせ、ふたたび川や海に流れこみます。わたしたちは、また水を取り入れて生活の中で使います。これを、水のじゅんかんと言います。

下水道は、汚れた水をきれいにして、川や海にもどすという大切な役割をもっています。岡山市では、昭和27年から下水道をつくる工事を始めました。今では、11の浄化センターで汚れた水をきれいにしてあります。また、各家庭からの下水を処理できる区域を広げるように工事を進めています。



下水道のやくわり

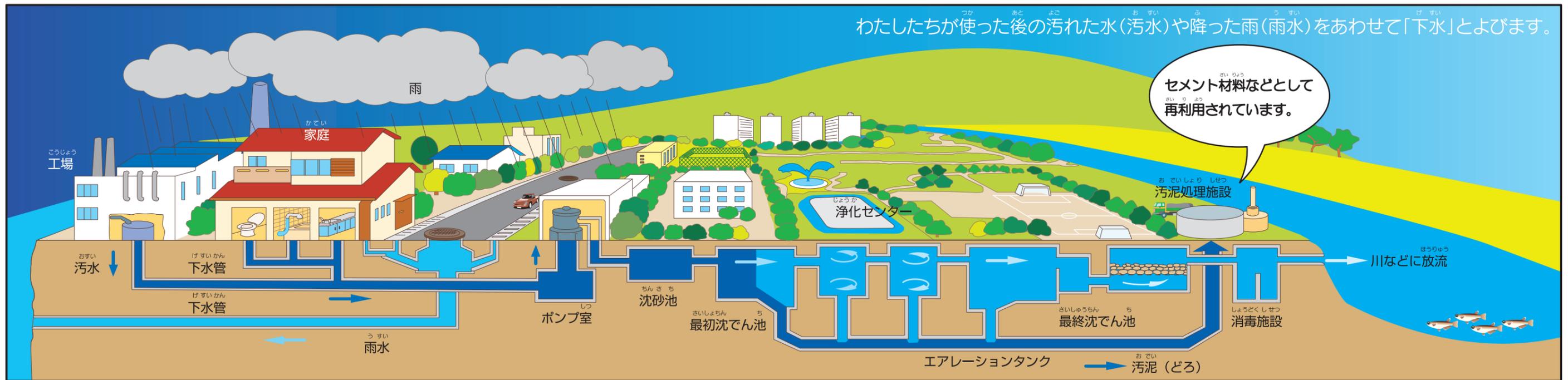
- 1 トイレが水洗になる
- 2 浸水からまちを守る



- 3 まちが清潔になる
- 4 川や海がよみがえる



下水道のしくみ



下水を集めるしくみ

下水は、まず下水管に流れ込みます。この下水管は道路の下などに埋められていて、汚水を浄化センターまで運び、雨水を川や海まで運ぶ役目をしています。下水管には、掃除や調査、修理をするためのマンホールがところどころにつけられています。

汚れた水がきれいになるまで

沈砂池 汚れた水の中の大きなごみや砂をここで取りのぞきます。	最初沈でん池 ちいさなごみや砂は、この池をゆっくり流れていく間に底にしずみます。	エアレーションタンク たくさんのび生物を含んだ泥をませ、空気をたくさん吹き込んでやるとび生物が汚れを食べてくれます。	最終沈でん池 汚れを食べて重くなったび生物は、この池に沈められて、きれいになった水と汚泥に分けられます。	消毒施設 きれいになった水を消毒して川や海へ流します。
--	--	--	--	---------------------------------------